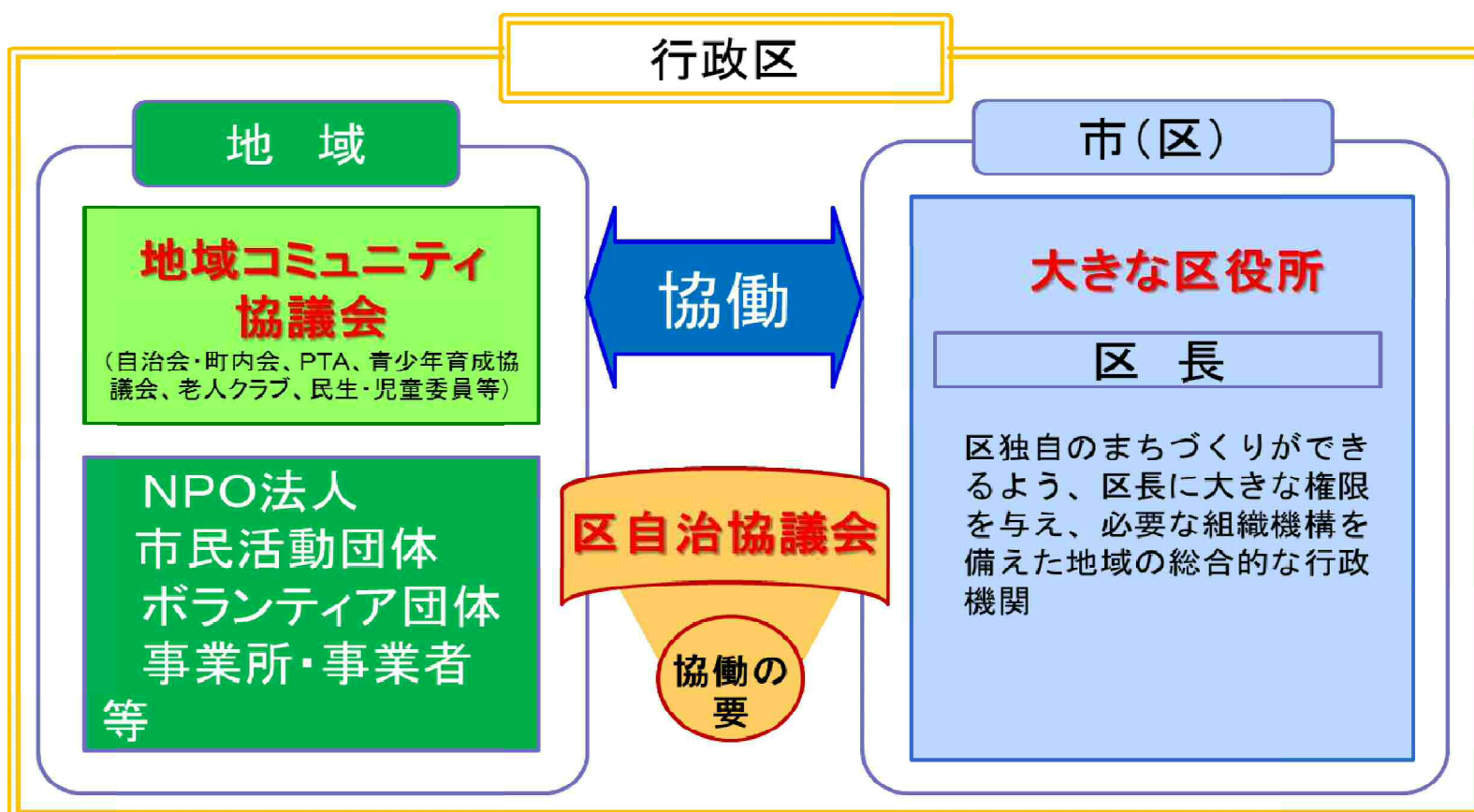


現状の区自治協議会の位置づけと役割について

1, 位置づけ (イメージ図)



2, 役割

「協働の要」の役割		
<ul style="list-style-type: none"> (区民等と市との協働の要) ・ 区民等の主体的な参加 ・ 多様な意見の調整, 取りまとめ ・ 区役所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> (地域振興活動の取りまとめ) ・ 行政と区民等が協働で実施する, コミュニティ育成や地域イベントなどの取りまとめ 	
<p>住民に基盤を置く機関として, 関係者の意見調整を行うもの</p>		<p>協働活動を調整し, 実施に向けて取りまとめを行うもの</p>
「地域代表」の役割		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治協での議論を団体へ持ち帰り, 活動へ活かす。 ・ 市から各種事務事業の報告等を受け, 地域へ周知する。 		
「実施主体」の役割		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治協提案事業 (予算500万円/区) の企画, 実施等に主体的に取り組む。 ・ 広報紙の発行 		
「審議会」の役割		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問/答申 ・ 必須意見聴取 ・ 意見具申 (建議) 		

【参考】区自治協議会のあり方検討にあたって ～これまでの振り返り～

※第2回区自治協議会のあり方検討委員会で使用した資料をもとに作成

区自治協議会設置の背景

- ①広域合併から政令指定都市への移行
 - ・ 8区の行政区を主体としたまちづくり
 - ・ 各地域の住民の意見を市政・区政に反映
 - ・ 地域審議会の発展的解消
- ②『分権型』政令市を目指す
 - ・ 行政区設置に伴い、区による主体的なまちづくりの実施
 - ・ 都市内分権の推進（大きな区役所，住民自治の拡充）

課題

■協働の要

○組織・委員

- ・ 地域や出身母体を代表した発言ができていないのではないか。
- ・ 審議内容を持ち帰り，それぞれの活動に活かせていないのではないか。
- ・ 若年層や子育て世代を含めた幅広い年齢層の委員就任が望ましい。【H29年4月現在の委員の平均年齢：62.0歳】
- ・ 女性参画のさらなる拡大が必要（第3次新潟市男女共同参画行動計画：H32年度末までに45%以上）。
【H29年4月現在の委員の女性割合：41.1%】

■地域代表・実施主体

○条例規定との関係

- ・ 近年，市として期待している役割は，附属機関の定義を超えていないか。

○運営上の課題

- ・ 議論を深める場である部会は，自治協提案事業に多くの時間を費やしている。
- ・ 事務局が自治協提案事業の取りまとめ作業に多くの事務量を要している。

■審議会

○審議会としての役割

- ・ 時間の経過や役割の多様化等とともに行政・委員双方の意識が希薄化し，機能が弱体化しているのではないか。
- ・ 委員人数が多すぎて，活発な議論がしづらいのではないか。
- ・ 市からの報告案件が多く，議論に時間を割けないケースが見受けられる。

成果

■課題解決に向けた事業実施等につながった

区モデルによる助成制度の構築，社会実験としてJRの増便，住民バス等の試験運行，市道の除雪路線の拡大，宅配サービス一覧の配布により買物を支援，男女の出会い創出によりカップルの誕生

■地域課題の把握・共有ができた

警察署の設置について要望書を提出，「区ビジョンまちづくり計画」策定により区の将来像を共有

■区民の意識改革につながった

講演会などを通じて防災・環境・健康寿命延伸の意識が向上，自主防災組織の結成，防災メール・防災アプリ登録者の増加，自治協提案事業の実施（政令市で唯一の制度），自治協広報紙の発行

■人材の発掘ができた

区内からの事業公募により人材や資源を発掘

※各期「区自治協議会を振り返って」より抜粋



○10年前に求められた自治協の姿と比べて現状はどうか

↳市（区）の施策に市（区）民の意思を反映，多様な意見を調整する場
⇒ 地域と行政お互いにメリット

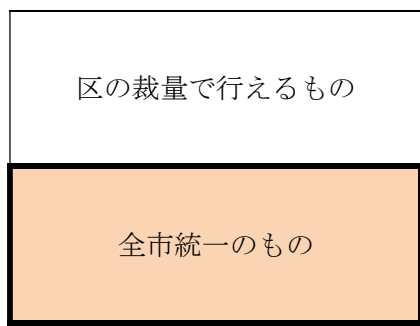
設置目的や

役割の明確化

○これからの10年に向け，新たな方向性の整理が必要ではないか

1. 意見聴取にあたって

今回は全市統一の検討が必要なものについてご意見をいただきます



【参考例】

- ・開催日時, 開催頻度
- ・委員発意のテーマを議題とすること
- ・若年層, 女性, 公募の委員を増やすこと
- ・自治協自らが広報紙を発行すること

今回, 意見聴取する部分

2. 意見聴取部分

※自治協の「仕組み」と役割についてポイントごとにご意見をいただきます

(1) 仕組み

ア これまでのご意見を踏まえて検討が必要なもの

項目	ご意見いただきたいポイント
区民の多様な意見を生かす組織	<p>○組織のあり方をどうするか ※委員構成・任期・定数（30人以内）／必ず自治協に意見を聴く項目 等 選択肢：1. 全市統一の組織（現行どおり） 2. 区の実情に合った組織 3. その他</p> <p>⇒区の実情に合った組織にすることで、より柔軟な運用ができないか ⇒区の独自性, 地域性をどう考えるか</p>

論点

(2) 役割

ア これまでのご意見を踏まえて検討が必要なもの

項目	ご意見いただきたいポイント
①意見提出	<p>○話し合うテーマをどうするか 選択肢：1. 現行どおり 2. 区のことの特化する 3. その他</p> <p>⇒テーマを絞ることで話し合いが活発化し、迅速な対応ができるのではないか ⇒話し合う対象が限定されることと、話し合う対象や役割が明確になることをどう考えるか</p>
②地域代表	<p>○行政からの説明, 報告（全市に係るもの）は今後も必要か 選択肢：1. 必要（現行どおり） 2. 案件によっては必要 3. 不要 4. その他</p> <p>⇒全市に係るものを説明, 報告対象とするか ⇒自治協に決定権が無いものを説明, 報告対象とするか</p>
③実施主体	<p>○自治協提案事業にどこまで関わるか 選択肢：1. 現行どおり 2. 企画・立案まで 3. 意見出しまで 4. 提案事業は不要</p> <p>⇒自治協が事業提案して得られる成果と負担をどう考えるか ⇒自治協は事業実施の担い手となるべきか ⇒区役所と自治協の役割分担をどう考えるか</p>

論点

論点

論点

イ 「協働の要」として引き続き期待するもの

項目	ご意見いただきたいポイント
①意見提出	区役所が所掌する事務等について話し合い, 区に対して意見を述べること
②地域代表	コミ協を中心とした委員同士の情報共有や意見交換を行い, それぞれの活動に生かすこと
③実施主体	地域課題の解決（区づくり予算など）への主体的な関与

「区自治協議会のあり方検討の方向性について（参考意見聴取）」

回答用紙

〇〇区

自治協議会

(1) 仕組み

検討が必要なもの	選択肢 ※番号に丸を付けてください	補足意見
区民の多様な意見を 生かす組織	1. 全市統一の組織（現行どおり） 2. 区の実情に合った組織 3. その他 〔 〕	

(2) 役割

検討が必要なもの	選択肢 ※番号に丸を付けてください	補足意見
①意見提出 話し合うテーマをどう するか	1. 現行どおり 2. 区のことの特化する 3. その他 〔 〕	
②地域代表 行政からの説明、報告 (全市に係るもの)は 今後も必要か	1. 必要（現行どおり） 2. 案件によっては必要 3. 不要 4. その他 〔 〕	
③実施主体 自治協提案事業にどこ まで関わるか	1. 現行どおり 2. 企画・立案まで 3. 意見出しまで 4. 提案事業は不要	

「協働の要」として引き続き期待するものとしていることについて、どう思いますか

(その他にも自治協のあり方全般に係ることなども記入可)



新民協第365号
平成29年11月9日

南区自治協議会会長
小田 信雄 様

新潟市長 篠田 昭
(市民生活部市民協働課)

区自治協議会のあり方検討について（参考意見聴取）

標記について、下記事項について意見聴取します。
なお、回答は、別紙様式により行ってください。
回答の提出期限は、平成29年12月28日（木）まで

記

区自治協議会のあり方の方向性について

(1) 仕組み

ア これまでのご意見を踏まえて検討が必要なもの

(2) 役割

ア これまでのご意見を踏まえて検討が必要なもの

イ 「協働の要」として引き続き期待するもの